

クナール河増水

堤防工事に全力

ガンベリ農場・オレンジ満開、養蜂を開始

ジャララバードは既に夏日です。どうしたことが今年は干ばつから一転、雨が例年になく多く、殆ど毎日夕立が降り、朝は快晴でも午後には雲が広がります。このため、河川の急激な水位上昇が観察され、夏の洪水に備えて、堤防のかさ上げ工事に集中しています。

ガンベリではオレンジが満開に近づき、花の香りでいっぱいになっています。柑橘類二万本はさすがに壮観ですが、世話は大変で、今年から本格的な出荷を目指し、栽培と販売に本腰を入れるときが来たようです。ビエラの森の蜂蜜事業も今年から始められます。気を吐いているのは畜産で、7頭から出発した乳牛は4年間で47頭、牛乳100リットルを毎日供給するまでになっています。

ガンベリ・シギ排水路は見通しをつけ、今週からU字溝の生産体制に入り、年内に1.9 km全線を終了する計画が立てられました。

カチャラ堰流域の堤防工事は最も急ぐ仕事ですが、8.5 kmはさすがに長くて物量が膨大、青息吐息です。同時にカチャラ堰流域では、植樹、排水路網の整備が進められています。護岸工事が現在最大のものです。ヤワな仕事ではありませんが、大きすぎて却って理解しにくいこともあるので、少し解説をしています。

カマ第一堰の主要工事は終了しましたが、増水期の観察が最後の仕事です。みなさん、お元気で。

タハール、バグランなど北部 4 州から来た技官 20 名がミラーン訓練所での研修を終えて、故郷に戻りました。顔立ちも東アジア系が少なからず、親しみが持てました。これまで実地研修がなかったので、興味が尽きなかったそうです。また、「実例があることが何よりも励みと希望になる」と、口を揃えて PMS の仕事に感謝していました。2019 年 4 月 12 日



技官たちの実地研修。「用水路の構造と作り方」は好評、素掘りかコンクリート・ライニングしか習わなかったのが、参考になった由。場所はカチャラ用水路 1000 m地点の蛇籠積み上段。2019 年 4 月 8 日



マルワリード用水路約 22km 地点（ガンベリ農場付近）。ガンベリ農場はオレンジの花盛り。今年は雨も多く、木々の緑が例年になく鮮やかだ。雨が多いので水争いがなく、マルワリード用水路はガンベリ末端まで豊富な水量を維持する。2019 年 4 月 6 日



オレンジの花、満開が近し。今年は花つきもいいが、新芽が鮮やかだ。PMS が過去移植した柑橘類の苗は約 2 万本以上、二、三年前から徐々に実をつけ始めてきている。今年は各所で盛大に開花し、豊作を印象づけた。しかし、農園が広大なこともあってまだまだ行き届いた世話ができず、これからの研究の余地が大きい。

2019 年 4 月 6 日



チャコタラと呼ばれる柑橘は、ザボンか晩白柚に近いもので、大振り。花もザボンに似ている。2019年4月6日



キンカンは日本のものと同じ。四季咲きで、一年中花実をつける。アフガン人はこの味を好む者が多い。人気の柑橘の一つ。2019年4月6日



レモンは数種類あり、一般にアフガンで出回っているのはライムに近い丸くて青いものだ。日本で見る普通のレモンもあり、今年はかなり収穫を見込めそうだ。日本のように病気が少ないのが驚き。2019 年 4 月 6



ビエラの実。約 1 cm前後の小さくて丸い実だ。PMS 農場のようなビエラの森は他になく、養蜂家が既に周辺で蜜を集めている。2019 年 4 月 6 日

